

第6章 計画の進行管理

1 進捗状況の点検及び計画の見直し

- 本計画に基づく施策を迅速かつ確実に推し進めるためには、掲げた施策の進捗状況を点検し、その状況に応じた取組の見直しを行う必要があります。
- このため、毎年度、定期的な点検・評価を行いPDCAサイクルによる進行管理を行います。
- また、指標については、目標の達成状況に係る全ての要因を評価することは困難であること、数値の達成が自己目的化し、本来の目指すべき状況との乖離を避ける必要があることを踏まえ、指標の推移に加え、関連情報も含めた多角的な評価を進めます。
- 本計画は今後5年間に取り組むべき施策の基本的方向を示すものであることから、特段の事由がある場合を除き、策定から5年後を目途に見直し、新たな計画を策定するものとします。

2 目標となる指標一覧

◆基本目標Ⅰ 「生きる力」を育む質の高い教育の実現

基本方針1 バランスのとれた知・徳・体を育成します

番号	指標	2017年度の現況値	2023年度の目標値
1	全国学力・学習状況調査の全国平均正答数との比較割合	小中 (99.6%) ¹	小中 100%超
2	「道徳教育推進運動実施状況調査」における「全学級で保護者や地域の方を対象に道徳の授業公開を実施している」学校の割合	小中 77.3%	小中 90.7%
3	「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」をもとにしたいじめの解消率 ²	小中 99.1%	小中 99.5%
4		高 95.4%	高 98.8%
5	「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における学校内外の機関で相談・支援を受けている不登校児童生徒の割合	小中 70.8%	小中 75.0%
6		高 83.5%	高 87.5%
7	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における朝食を「食べない日が多い」「食べない」児童生徒の割合	小男子 (2.2%)	小男子 2.0%
8		小女子 (1.4%)	小女子 1.3%
9		中男子 (4.8%)	中男子 4.6%
10		中女子 (3.9%)	中女子 3.5%

¹〔 〕内の現況値は2018年度数値です。

²翌年度6月末までに解消した件数の割合

1 1 1 2	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における授業以外でほとんど毎日（週 420 分以上）、運動やスポーツを実施している児童の割合	男子〔56.9%〕 女子〔34.0%〕	男子 59.0% 女子 37.0%
1 3 1 4	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における児童の体力合計点の全国体力合計点との比較割合	男子〔98.9%〕 女子〔99.1%〕	男子 100% 女子 100%
1 5	幼稚園、保育所及び認定こども園の意見を踏まえて小学校入学後のスタートカリキュラムを編成している小学校の割合	73.7%	100%

基本方針2 ふるさとに誇りを持ち、地域や世界で活躍する人材を育成します

番号	指標	2017年度の現況値	2023年度の目標値
1 6	中学校卒業段階で CEFR A1 レベル相当以上を達成した生徒の割合	中 36.6%	中 50.0%
1 7	高等学校卒業段階で CEFR A2 レベル相当以上を達成した生徒の割合	高 38.7%	高 43.0%
1 8 1 9 2 0	キャリア・パスポートの利活用に関する調査においてキャリア・パスポートを「活用している」学校の割合	小 - 中 - 高 -	小 100% 中 100% 高 100%
2 1	「科学の甲子園ジュニア」に参加した中学校の延べ数	8 校	15 校
2 2	産業技術短期大学校、峡南高等技術専門校、山梨大学、ポリテクセンター山梨等での技術研修を受けた工業系高校生の割合	9.6%	19.6%

基本方針3 学校・家庭・地域との連携・協働の推進

番号	指標	2017年度の現況値	2023年度の目標値
2 3	地域ごとに行われる「家族で子育てを考えるフォーラム」への参加者数	750 人	1,000 人
2 4	コミュニティ・スクールとなった小・中学校の割合	6.0%	20.0%
2 5	コミュニティ・スクールとなった県立学校の割合	0%	10.0%
2 6	公立小学校に対する放課後子供教室設置の割合	70.0%	80.0%

◆基本目標Ⅱ 人生を豊かにし、社会を支える生涯学習の展開

基本方針1 学びと活用が循環する生涯学習を推進します

番号	指標	2017年度の現況値	2023年度の目標値
27	生涯学習推進センターの利用者数	28,650人	30,000人
28	県民文化祭における地域フェスティバルの事業数	86事業	95事業
29	県内の国・県指定文化財の件数	701件	726件

基本方針2 生涯にわたって活躍できる学びの体制づくりに努めます

番号	指標	2017年度の現況値	2023年度の目標値
30	山梨県障害者文化展への出展作品数	{1,144点}	1,240点

◆基本目標Ⅲ だれもが安心して学べる教育環境の整備

基本方針1 質の高い教育のための環境整備に努めます

番号	指標	2017年度の現況値	2023年度の目標値
31 32	年間20回以上「きずなの日」を実施している学校の割合	小中 26.4% 高特 57.4%	小中 100% 高特 100%
33 34 35 36	平日1日と土日どちらか1日を休養日としている部活動の顧問の割合（中学校、高校）	中(平日){80.4%} 中(土日){93.2%} 高(平日){79.0%} 高(土日){80.9%}	中(平日) 100% 中(土日) 100% 高(平日) 90.0%超 高(土日) 90.0%超
37 38 39 40	総合教育センターの研修会受講者アンケートの回答のうち、「役立つ内容であった（満足した）」と回答した者の割合	第1ステージ 99.9% 第2ステージ 85.1% 第3ステージ 92.4% 校長・教頭 96.0%	第1ステージ 100% 第2ステージ 90.0% 第3ステージ 97.0% 校長・教頭 100%
41 42 43 44	「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」における児童生徒のICT活用を指導する能力を持つ教員の割合	小 69.6% 中 64.5% 高 68.3% 特 72.0%	小 75.0% 中 75.0% 高 80.0% 特 80.0%

※ { } 内の現況値は2018年度数値です。

基本方針2 多様な学びの機会の充実と提供を図ります。

番号	指標	2017年度 (H29) の現況値	2023年度 (H35) の目標値
45	特別支援学校高等部の新卒生徒のうち一般就労した生徒の割合	33.5%	35.0%
46	小・中・高等学校の全教員のうち、特別支援教育に関連した研修会及び講習会を受けた割合	小 86.1%	小 100%
47		中 67.4%	中 90.0%
48		高 58.9%	高 80.0%

資料

1 「山梨県教育振興基本計画」策定委員会の審議経過

回数	開催日	審議内容
第1回	平成30年5月11日	<ul style="list-style-type: none"> ○計画策定に当たっての基本的な考え方 ○計画の位置付け及びこれまでの取組について ○今後のスケジュールについて
第2回	平成30年6月1日	<ul style="list-style-type: none"> ○やまなし教育アンケート集計結果について ○教育を取り巻く社会の状況について ○山梨県教育のこれまでの取組について
第3回	平成30年7月31日	<ul style="list-style-type: none"> ○教育を取り巻く社会の状況について ○山梨県教育の目指す方向について
第4回	平成30年9月7日	<ul style="list-style-type: none"> ○教育を取り巻く社会の状況について ○山梨県教育のこれまでの取組について ○施策の具体的方向について
第5回	平成30年11月9日	<ul style="list-style-type: none"> ○山梨県教育振興基本計画（仮称）素案について

2 「山梨県教育振興基本計画」策定委員会委員名簿

(五十音順、敬称略)

氏名	所属・役職	備考
井上 敬典	山梨県公立小中学校長会会長	
池田 充裕	山梨県立大学人間福祉学部教授	
岡部 和子	公益財団法人 山梨県体育協会理事	
小澤 浩	山梨県高等学校PTA連合会会長	
落合 陽子	山梨県保育協議会副会長	
川手 佳彦	公益社団法人 山梨県私学教育振興会理事長	
栗原 早苗	社会福祉法人 さかき会総合施設長	
佐野 誠	山梨県PTA協議会会長	
塩島 明美	山梨県社会教育委員連絡協議会会長	
白砂 勇	山梨県文化協会連合会理事	
新藤 久和	山梨大学名誉教授	
瀧田 武彦	公立学校共済組合監事（元山梨県教育長）	委員長
田口 尚弥	山梨県高等学校長協会会長	
津久井 豊徳	山梨県市町村教育委員会連合会会長	
烏海 順子	山梨大学大学院教育学研究科教授	副委員長
望月 直樹	株式会社 ラッキー商会代表取締役社長	

山梨県教育振興基本計画

2019（令和元）年6月 山梨県教育委員会

〒400-8501

山梨県甲府市丸の内1-6-1

山梨県教育庁総務課

電話 055-223-1741

山梨県教育委員会ホームページ

<http://www.pref.yamanashi.jp/kyouiku/top.html>
